

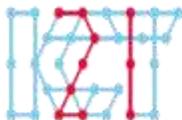
学校・家庭・民間教育事業者 の連携ビジネス開発SWG

2015活動報告 2016活動計画

株式会社デジタル・ナレッジ
はが弘明

学校・家庭・民間教育事業者の 連携ビジネス開発SWGの概要

活動目的	学校、家庭と、地域の民間教育事業者（学習塾など）が連携して、児童生徒を中心ににおいて支える教育事業（連携ビジネス）について、具体的な実証の中で有用性、課題を把握し、ビジネス化に向けての解決策を検討する。
活動方針	<ul style="list-style-type: none">・民間教育事業者もしくは学校で、実際に進めたい活動テーマを持っている方（主催者）を中心にした、具体的な実証活動を中心とする。・その連携ビジネス活動テーマごとに教員、保護者、事業者が参加したテーマメンバを主催者が主導して設定する。・テーマメンバ毎に実証され、サービス化に向けて、活動する。・ただし、SWG全体としての情報共有は別途行う。
活動メンバー (実証メンバ含)	デジタル・ナレッジ 市進 Z会ラーニング・テクノロジー ペガサス



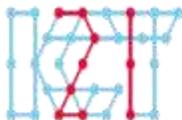
2015年度 活動報告

• 活動実績

- ✓ ドリームスクールプロジェクトの一環として実証した以下の結果を踏まえ、SWGとしてビジネス開発の検討を実施。
 - 放課後ICT授業実証 — 実証校 葛城市、箕面市
 - 習熟度マップ実証 — 実証校 登米市

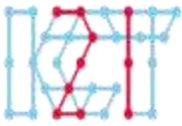
• 課題、反省

- ✓ 実証はできたが、サステイナブルなビジネス開発にまでは至らなかった。



2016年度 活動計画

- 具体的な活動（ねらい、成果イメージ）
 - ✓ SWGメンバーを拡大し、昨年の実績を共有、これを研究し、まったく新たなビジネス開発のモデルを検討します。
 - ✓ 昨年実施した2つのビジネス開発モデルについては、より多くの学校で実証を進め、サステイナブルにするためのブラッシュアップを実施する。
- スケジュール
 - ✓ 年内にサステイナブルなビジネス案を作成する。
 - ✓ 年度内に利用したいモデル校と民間を選定、マッチングさせる。
- 体制、メンバー
 - ✓ 未定
- 想定費用 等
 - ✓ 未定



学校・家庭・民間教育事業者の連携ビジネス開発SWG

塾
通信
教育
...



プロジェクト

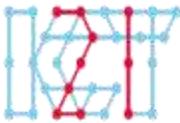
プロジェクト

技術標準化WG
単元ID(MAP)の共通化

ドリームスクール実践モデル

プロジェクト
登米市

プロジェクト
箕面市・葛
城市



ICTを活用し、学校と塾が連携して生徒の基礎学力をアダプティブに補う、地域連携モデル

